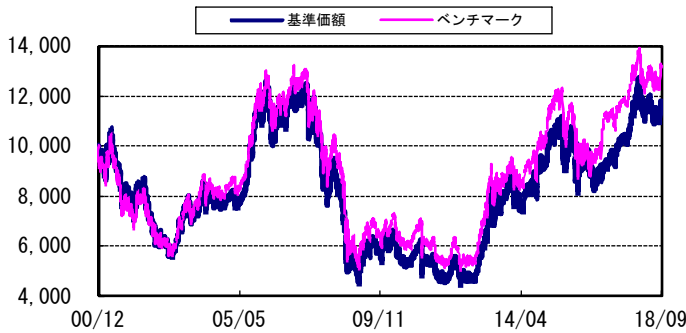


各資産の運用状況

【日本株式】＜日興アクティブ・ダイナミクス＞ 設定日：2000年12月15日 運用会社：日興アセットマネジメント

＜基準価額とベンチマークの指数化グラフ＞



＜組入上位10銘柄＞

銘柄		業種	比率
1	豊田通商	卸売業	4.68%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.55%
3	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3.25%
4	電通	サービス業	3.19%
5	イオンモール	不動産業	3.19%
6	関西電力	電気・ガス業	3.09%
7	いすゞ自動車	輸送用機器	3.00%
8	日本郵政	サービス業	2.82%
9	SCSK	情報・通信業	2.67%
10	三菱重工業	機械	2.56%

※マザーファンドの状況です。比率は対純資産総額比です。

※基準価額は当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意下さい。
 ※ベンチマークはTOPIX（東証株価指数）です。
 ※ベンチマークは設定日の前営業日を、10,000として指数化しています。
 ※TOPIX（東証株価指数）に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。

＜基準価額のパフォーマンス＞

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
ファンド	4.06%	4.50%	2.60%	10.22%	25.37%	17.30%
ベンチマーク	4.72%	4.99%	5.88%	8.51%	28.78%	32.43%

※基準価額は当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

「日興アクティブ・ダイナミクス」の月次レポートは日興アセットマネジメントのホームページ（<http://www.nikkoam.com>）に掲載しております。

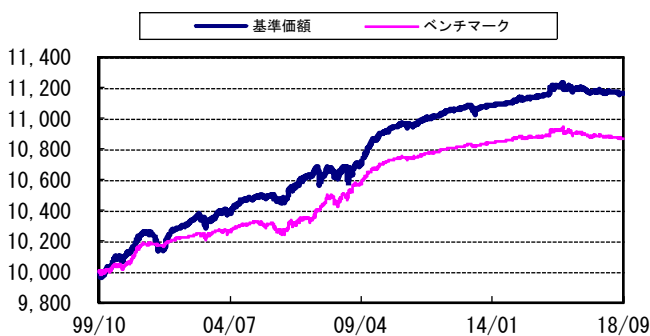
＜上位5業種投資比率＞

	業種	比率
1	電気機器	12.2%
2	サービス業	7.5%
3	化学	7.3%
4	銀行業	6.9%
5	情報・通信業	6.9%

※マザーファンドの状況です。比率は対組入株式時価総額比です。

【日本債券】＜日本短期債券マザーファンド＞ 設定日：1999年10月29日 運用会社：日興アセットマネジメント

＜基準価額とベンチマークの指数化グラフ＞



＜残存期間別構成比率＞

1年未満	5.9%
1年以上2年未満	47.0%
2年以上	47.1%

※比率は対組入債券時価総額比です。

※ベンチマークはNOMURA-BPI総合短期です。ただし、2016年12月31日までは日興債券パフォーマンスインデックス（総合・短期）です。

※ベンチマークは設定日の前営業日を、10,000として指数化しています。
 ※NOMURA-BPI総合短期は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

＜基準価額のパフォーマンス＞

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
ファンド	-0.01%	-0.05%	-0.07%	-0.09%	0.15%	11.62%
ベンチマーク	-0.01%	-0.04%	-0.08%	-0.11%	-0.09%	8.71%

＜資産構成比率＞

資産	比率
国債	80.9%
地方債	0.0%
特殊債	0.0%
金融債	2.9%
普通社債	14.4%
C B	0.0%
短期金融資産等	1.9%

※比率は対純資産総額比です。
 ※普通社債には投資法人債を含みます。

＜格付別比率＞

格付	比率
A A A	0.0%
A A	91.2%
A	8.8%
B B B	0.0%
その他	0.0%

※比率は対組入債券時価総額比です。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

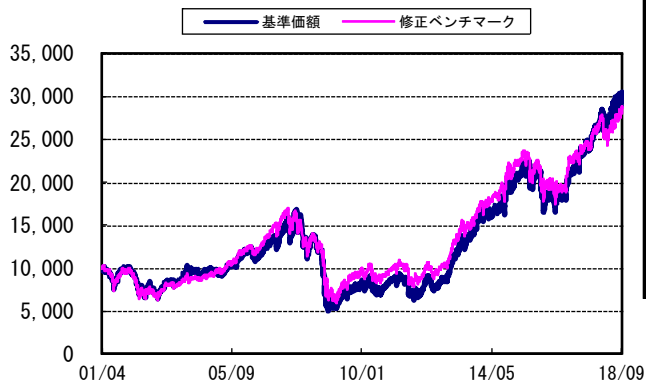
■当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

各資産の運用状況

【海外株式】 <ベスト・バランス／海外株式マザーファンド>

設定日：2001年4月27日 運用会社：ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー

<基準価額と修正ベンチマークの指数化グラフ>



※修正ベンチマークは、MSCI-KOKUSAIインデックスの前営業日のドルベースの数値を当日のファンドで採用している為替レートで円換算しており、ファンドの基準価額算出方式に合わせております。
 ※修正ベンチマークは設定日を、10,000として指数化しています。
 ※MSCI-KOKUSAIインデックスに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

<基準価額のパフォーマンス>

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	2.11%	7.97%	16.13%	20.81%	59.51%	205.18%
修正ベンチマーク	2.62%	9.00%	15.53%	13.64%	44.75%	188.29%

<組入上位10銘柄>

(銘柄数：70銘柄)

	銘柄	業種	国名	通貨	比率
1	AMAZON.COM INC	小売	アメリカ	アメリカドル	4.33%
2	ALPHABET INC-CL C	ソフトウェア・サービス	アメリカ	アメリカドル	4.10%
3	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	アメリカ	アメリカドル	2.83%
4	BANK OF AMERICA CORP	銀行	アメリカ	アメリカドル	2.22%
5	ADOBE SYSTEMS INC	ソフトウェア・サービス	アメリカ	アメリカドル	2.21%
6	SALESFORCE.COM INC	ソフトウェア・サービス	アメリカ	アメリカドル	2.19%
7	SERVICENOW INC	ソフトウェア・サービス	アメリカ	アメリカドル	2.16%
8	PAYPAL HOLDINGS INC	ソフトウェア・サービス	アメリカ	アメリカドル	2.05%
9	ADVANCED MICRO DEVICES	半導体・半導体製造装置	アメリカ	アメリカドル	1.81%
10	TD AMERITRADE HOLDING CORP	各種金融	アメリカ	アメリカドル	1.79%

※比率は対純資産総額比です。

<上位10カ国投資比率>

	国名	比率
1	アメリカ	61.7%
2	イギリス	5.4%
3	ケイマン諸島	4.3%
4	スイス	3.8%
5	カナダ	3.7%
6	ドイツ	3.5%
7	中国	2.5%
8	スウェーデン	2.3%
9	オランダ	2.0%
10	ルクセンブルグ	1.4%

※比率は対純資産総額比です。

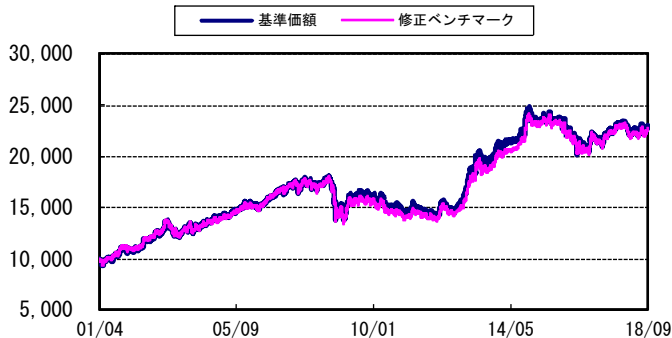
※先物を含みます。

【海外債券】 <ベスト・バランス／海外債券マザーファンド>

設定日：2001年4月27日

運用会社：日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッド

<基準価額と修正ベンチマークの指数化グラフ>



※修正ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（除く日本）の前営業日のドルベースの数値を当日のファンドで採用している為替レートで円換算しており、ファンドの基準価額算出方式に合わせております。

※修正ベンチマークは設定日を、10,000として指数化しています。

※FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

<基準価額のパフォーマンス>

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	1.85%	2.51%	2.99%	0.14%	-1.90%	130.47%
修正ベンチマーク	1.88%	2.53%	2.58%	-0.48%	-1.95%	127.17%

<残存期間別構成比率>

2年未満	9.1%
2年以上5年未満	4.8%
5年以上	86.1%

※比率は対組入債券時価総額比です。

<国別上位構成比率>

	国名	比率
1	アメリカ	17.8%
2	フランス	15.4%
3	オランダ	12.8%
4	イタリア	12.4%
5	韓国	7.3%
6	デンマーク	5.4%
7	イギリス	5.3%

※比率は対純資産総額比です。

※先物を含みます。

<格付別比率>

格付	比率
A a a	44.8%
A a	33.1%
A	3.0%
B a a	19.2%
その他	0.0%

※比率は対組入債券時価総額比です。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

■当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。